

ジョブローテーション、乗務員勤務制度改悪、ダイ改合理化、ローカル線切り捨て反対！ 定年延長と65歳まで働ける職場を！

# ワンマン化・地域切捨てに怒り

## 7 / 3 内房線と地域を守る会 第6回総会開催

7月3日、内房線と地域を守る会（梅澤代表）は第6回総会を開催しました。

### ワンマン運転での骨折事故を追及

総会では会の活動として、昨年3月に外房線・太東駅で発生した乗客の転倒・骨折という重大事故を千葉支社がまったく公表してこなかったことについて問いただしたことが報告されました。千葉支社は「マスコミから問い合わせがあったので対応した」と答えるだけという、あまりに不誠実な態度でした。会場からもJRによる列車・地域切り捨てや、ワンマン運転の問題点が明らかになっているにも関わらず拡大を続けることへの怒りが次々に語られました。

- ◆ 年末までに五井駅がみどりの窓口廃止になる。千葉、蘇我、木更津、浜金谷、館山、安房鴨川にしか残らない。定期券購入やスイカの諸手続も支障がでている。
- ◆ 国で鉄道無人駅の障害者利用ガイドラインが検討されている。交通弱者への配慮の声も届けてほしい。
- ◆ 今年3月ダイ改でワンマン化された日光線と宇都宮線に乗ったが大変な混雑だ。どうしてワンマン運転を拡大するのか。
- ◆ 内房線のワンマン区間について、18時こ



るの列車が非常に混雑している。増結して4両にするなどしてほしい。外房線は平日もある。観光上も特急は必要だ。

◆ 千葉から館山に行く際、木更津乗り換えだと思って3番線まで待っていたら、2番線から出発して一本乗り過ぎた。どこで接続するのかの案内が放送でも掲示でもない。その上、紙の時刻表もなくなつた。あまりに不親切だ。

東日本JR 7月中旬にローカル線収支公表

JR東の深澤社長は、ローカル線の区間別収支を7月中にも公表すると発表しました。事故や問題点が明らかになったワンマン運転の拡大も進めようとしています。

地域の怒りとともに、列車・地域切り捨て、ワンマン運転拡大、乗務員への矛盾の押し付けに反対の声をあげよう。